

第2回安平町新しい学校を考える会議事録

○日時：令和元年7月3日18時30分～20時00分

○場所：町民センター 中集会室

○出席者：参加者24名 教育委員会8名

○内容

1. 教育委員会事務局より挨拶(教育委員会 次長)

みなさんこんばんは。お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。この学校を考える会はどなたでも参加できるワークショップとして実施しております。このワークショップで何かを判断したり決定したりすることはないのですが、町民の皆様方の意見をより多く反映していきたいという思いで開催しております。進める内容は段階的にテーマを持ってこちらで用意して、早来中の再建をより良いものにしていきたいと考えております。

2. 常任委員の紹介(総合教育専門員 井内)

今回の学校を考える会より、常任委員の方々に参加していただいております。議論をする上で毎回参加者が変わってしまうとワークショップの進行がスムーズに進まないということもありますので、教育委員会事務局の方で声をかけさせていただきました。選出ですが、1月16日から学校を考える会をずっと開催してきて、そこで話し合われた内容をベースに学校再建を進めるということになっております。そのため、今までの考える会の議論に参加していただいた方の中から、地域や事情など様々な背景を総合的に勘案して依頼をいたしました。

常任委員一覧

代表：近藤 健一 氏

副代表：高橋 史賢 氏

委員：廣岡 由季 氏、城畑 真理子 氏、小泉 奈津子 氏、河嶋 愛基 氏

3. 検討部会等の検討状況と前回の振り返り(総合教育専門員 井内)

基本的にはお手元の資料1・2をお読みいただきたいのですが、早来中学校再建に関する合同学校運営協議会の検討部会のお話をさせていただきます。ここでは再建の方向性として、早来中学校の単独再建なのか、中学校のみ建て直して既存の小学校と一体校舎にするのか、小中一体で建て直すのかが検討されました。検討の結果、一番のポイントは学校建設予定の土地の場所でした。学校の建設予定地には小川や丘があり、こういった部分に学校を建てようとするとならば造成費用が高額となり難しい状況です。例えば中学校の単独再建の場合は、グラウンドを確保するためには小川や丘を造成する必要があり、予算として難しいということになってしまいます。また、小学校を残して、中学校を単独で再建すると、学校を作っている最中に早来小学校のグラウンドもなくなってしまうため、早来地区にグラウンドが1つもなくなってしまうということになってしまいます。そのため、小川や丘を避けて敷地の真ん中に校舎を建てて、まずはここに小中一体型の校舎を建てるのが現在の子どもたちの教育環境にも予算的にも支障がなく進めることができるという話になりました。既存の早来小学校校舎を解体する際にも、既存のグラウンドはそのまま使うことができ、グラウンド

の整備についても現状のものを利用するので予算も大幅に削減することができます。この新しい校舎が義務教育学校なのか、小中一貫校なのかの議論についてはあとの議論になります。こうした状況の中で、検討部会では決定ではないが、敷地の真ん中に一体型の校舎を建てるという方向性で、この考える会で意見を出し合ひましようということになりました。これをもとに本日はみなさんに話し合ってもらいます。

4、ワークショップ「新しい学校の配置計画と施設内容について」

①資料の説明

教育環境研究所の野島様より会議資料「資料3～資料8」までの説明をしていただきました。

②グループディスカッション

・目標

早来中学校と早来小学校の改築を施設一体型を想定して、学校施設の配置計画や各室の要望について議論し、アイデアを出し合ひ、課題を共有することを目指す。

・進め方

参加者を5グループに分け、次に示す諸室の配置とそれぞれのスペースの使い方について話し合った。そして話し合ひの結果をグループごとに発表し、アイデアや課題について共有。

③発表・質問・総評

■発表

グループ1

<地域開放>

・地域開放される室の配置は道路側にあると利用しやすい。

<建物配置>

・小川・湿地まで活用した横長の校舎とすることで、敷地を有効活用し、グラウンドを広く取りたい。また屋外通路は冬は寒いので、内部通路としたい。通路の幅は、通りやすいように大きくしてほしい。

<グラウンド>

・小学生と中学生が同時に利用する場合は、野球場の重なりが危ないので、グラウンドの広さを確保したい。

<教室>

・小学生と中学生の時間割の違いや、音の環境に考慮が必要である。小学校のまとまりと、中学校のまとまりで分けて共有の場所をつなぐなど。

・道路側に教室が配置されると、交通量にもよるが、音が気になりそうだ。

<学校運営>

・児童・生徒が授業で使っているときに、地域開放はできないと思う。運営方法の検討が必要だ。

グループ2

<地域開放>

・スポーツが盛んなので、地域住民も利用できる場所（グラウンド・体育館・更衣室等）がほしい。

- ・家庭科室や図書室が多目的ホールの近くにあって利用できるなど、ママ会ができる場所がほしい。
- ・多目的ホールを利用して、給食を食べたい。児童・生徒とも交流できるような場所になるとよい。

<建物配置>

- ・外部の通り庭は寒く、デッドスペースになりそうでもったいない。
- ・3階建てにして、建物をコンパクトに計画すれば、グラウンドが広く確保できてよい。

<グラウンド>

- ・建物をコンパクトにすることで敷地に余裕ができる。駐車場を広く取る。グラウンドに余裕ができるなど、敷地の有効利用の可能性を残せるのではないか。

グループ3

<地域開放>

- ・地域利用できる場所は道路側のほうが利用しやすい。
- ・アリーナが道路側にあれば、地域住民も利用しやすい。

<建物配置>

- ・アリーナはカラッとした空気になるような配置がよい。じめじめした体育館は嫌だ。

<グラウンド>

- ・トラック 300mは必須である。
- ・テニスコートは早来中学校に3面あったので、3~4面ほしい。

<室構成>

- ・多目的ホールの近くに家庭科室があると、利用しやすい。
- ・特別支援教室は普通教室の近くがよい。サロンのようにみんなが使える。
- ・バリアフリーに考慮して。特別支援教室は昇降口の近くがよい。
- ・大・中アリーナはつながっていた方が更衣室やトイレなどをまとめて配置できる。
- ・管理諸室は防犯上、1階がよい。

<児童館・学童・放課後子ども教室の利用>

- ・児童館・学童・放課後子ども教室でも学校で活動できる場所がほしい。

グループ4

<地域開放>

- ・地域利用できるスペース、特に図書館は年配でも入りやすい場所にしてほしい。

<建物配置>

- ・アリーナが道路側にあると圧迫感がある。
- ・自然を残し、自然を感じたい。小学生などは理科でもこの敷地の環境を活用できるのではないか。探検してほしい。

<室構成>

- ・職員室は不審者対策として視認性のある場所がよい。
- ・小学生の教室と、中学校の教室は分けた方がよい。震災で早来中学校生徒が、早来小学校で授業を受けていた際に、うるさい等の支障があった。
- ・特別支援ではガラッと環境が変わると、心理的に不安になるので、変わらない環境を用意するなど配慮が必要である。

- ・体育館の更衣室と教室の移動時間を考えると、近くにあったほうがよい。
- ・大・中アリーナの2つを近くにすれば、更衣室やトイレが共通で利用できる。暖房効率もよいのではないか。

グループ5

<地域開放>

- ・地域住民が利用しやすいように、アリーナは道路側がよい。
- ・図書室の近くにカフェがほしい。

<建物配置>

- ・建物をコの字型にして、バスロータリーとし、2階の図書室の下に車庫や備蓄庫を配置した。
- ・震災時は防災広場としてバスロータリーが使える。
- ・震災の時に家庭科室で炊き出しや多目的室が避難所となるので、避難生活が少しでも快適となるような配置がよい。
- ・裏山に抜けられる動線を確保したい。
- ・学童でも利用しやすいような配置がよい。

<グラウンド>

- ・200mトラックは野球場を使っても利用できるような配置がよい。

<室構成>

- ・アリーナと教室を離れたほうが、音が聞こえないので勉強に集中できる。
- ・アリーナにギャラリーがほしい。

■総評・感想

計画アドバイザー：みんなの学校ということですのでおすすめしていますが、体育館は地域が使いやすいように道路側に配置する方がよいという意見と、圧迫感がないように奥に配置する方がよいという意見があるように同じ目標でも答えはひとつではないということが分かると思います。出てくる案をみんなで吟味しながらこれから先考えて、方向性を考えていく必要があります。本日は将来決定していくためのアイデア出しができたのではないかと。建築は求められた部屋を廊下に並べるということではなく、それぞれの部屋や空間の関係を考えることで1つの部屋ではできない新しい活動を生み出すことのできるものです。そしてこれからは、敷地全体をいかに有効に使うか、敷地の特色をいかに活かしていくかという観点で計画を作成していくのが良いと思う。いずれにせよ、考えてアイデアを出す作業は楽しいですが、その先には決めなくてはならない苦しさも待っている。そういうものを乗り越えて、この場に来られない方の意見も含めて、この学校をみんなで作ったという思いを持てるような進め方を今後していきたい。色々な意見を今日はありがとうございました。

5、次回の日程について(総合教育専門員 井内)

この後の流れですが、今皆さんからいただいた意見をもとに、次回の考える会ではこちらで作成したいいくつかのパターンを用意して見ていただきます。この基本計画ではどれか1つに絞るということはありません。設計する段階で、設計業者にこれらのパターンを元に具体的に考えていただきます。次回は7月30日(火)の18:30から町民センターの中集会室で実施しますので、お忙しい時期ではございますが参加していただければと思います。本日はありがとうございました。